

# 第74回全日本弓道遠的選手権大会

## 選手必携

参加選手は、本必携を熟読の上、大会に参加してください。

公益財団法人 全日本弓道連盟



スポーツ振興基金助成事業

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。

<http://www.naash.go.jp/sinko/>

独立行政法人日本スポーツ振興センター

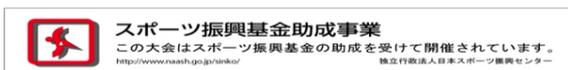
# 目次

1. 実施要項について……………< 2 >
2. 弓具・服装について……………< 3 >
3. 大会日程について……………< 3 >
4. 参加選手について……………< 4 >
5. 選手受付について……………< 4 >
6. 参拝について……………< 4 >
7. 式典等について……………< 4 >
8. 競技運行について……………< 5 >
9. 帯同者について……………< 5 >
10. 会場について……………< 5 >
11. 予選結果の配布について……………< 6 >
12. その他……………< 6 >
13. 式典図……………< 7 >
14. 会場図……………< 7・8 >
15. 参加選手一覧・予選立順一覧……………< 9～12 >

# 1. 実施要項について

## 第74回全日本弓道遠的選手権大会 実施要項

1. 目的 本連盟における最高峰の遠的競技会と位置付け、弓道技能の向上を目指すとともに心技体になつた射手の育成を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援 スポーツ庁・明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会・公益財団法人日本武道館
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期日 令和5年11月25日(土)女子・26日(日)男子
6. 会場 全日本弓道連盟中央道場  
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1  
TEL: 03-5302-5865
7. 競技種目 遠的競技
8. 競技種類 個人競技
9. 競技種別 男子の部・女子の部
10. 競技内容 的中制(立射・直径79cm震的)
11. 競技日程 各日共通 8:00 開館・選手受付  
9:00 開会式  
10:00 予選一回目  
11:00 予選二回目  
14:30 決勝  
17:30 閉会式
- ※参加人数、競技の進行により前後する場合があります。
12. 競技方法 (1) 予選  
①各自6射(1回目一手2射、2回目:二手4射)行い、的中制により上位24名を決勝進出者とする。  
②決勝進出最下位の選手が複数の場合は、遠近競射により決定する。
- (2) 決勝  
①各自10射(一手5回)行い、的中制により順位を決定する。  
②最上位者が複数の場合、優勝者決定迄射詰にて行う。  
③優勝以外の順位決定は、遠近競射にて行う。
13. 表彰 (1) 優勝者に本連盟よりカップ(持ち回り)、賞状及びメダルを授与する。  
(2) 2位～5位に本連盟より賞状及びメダルを授与する。  
(3) 優勝者に公益財団法人日本武道館よりカップ及び賞状を授与する。
14. 参加資格 (1) 日本国籍を有し、地連(都道府県弓道連盟)に所属している、以下いずれかに該当する五段以上の有段者又は称号者の男女各95名。  
①前年度男女優勝者。  
②地連から選出された男女各2名。
15. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。
16. 参加申込 (1) 方法: 参加者は所定の参加申込書に必要事項を入力後、印刷し、参加料を添えて、所属地連へ申請すること。  
自筆の場合は、必要事項を楷書で判りやすく明確に記入すること。  
地連は申請者の資格等確認の上、締切日までに申込書を下記宛に送付し、参加料を本連盟の指定口座へ締切日までに振り込むこと。  
(2) 注意点: 参加者は申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。  
個人会員から本連盟に直接申し込みをすることはできない。  
必ず地連が取り纏めて行うこと。  
(3) 申込先: 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
公益財団法人全日本弓道連盟 全日本弓道遠的選手権大会係 宛  
TEL: 03-6447-2980
17. 参加料 1名: 15,000円
18. 申込締切 令和5年10月27日(金)
19. 注意事項 (1) 大会参加にあたり、各地連経由で配布の「選手必携」を確認すること。  
(2) 弓は竹弓とする。矢は新素材シャフトでもよい。  
(3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。  
(4) 開会式には原則として全員参加すること。  
(5) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。  
(6) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。  
(7) 参加者は健康保険証を持参のこと。
20. 映像の取り扱いについて 個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。  
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
22. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。  
(1) 大会プログラムならびに関係書類への記載(氏名、所属地連、称号、段位)  
(2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載(氏名、所属地連、称号、段位、写真、動画)  
(3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。  
関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。



2. 弓具・服装について

弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が改善されなければ失権とする。

- ①弓は、竹弓とする。矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。
- ②矢の籐の材質は、新素材でもよい。羽丈（羽根の長さ）は、9cm～15cmとする。
- ③弾は、三つ弾、四つ弾あるいは諸弾のいずれかを使用すること。控、帽子および弦枕があること。
- ④服装は、競技、式典とも弓道衣[白筒袖、黒袴および白足袋]とし、ゼッケンおよび選手章（受付時に配布）を付けること。



3. 大会日程について

11月25日（土）女子

8:00～8:30	開館・受付			
9:00～9:20	開会式			
9:50～10:50	予選 83名	1回目	11立	No. 1～83
11:00～12:00		2回目	6立	No. 1～48
12:10～13:00		2回目	5立	No.49～83
決勝進出者決定のための遠近競射・決勝進出者発表				
昼食休憩（60分）13:30～14:30				
決勝進出者招集 ※午後開始の15分前				
14:30～15:15	決勝 24名	1回目	3立	
15:30～16:00		2回目	3立	
		3回目	3立	
		4回目	3立	
		5回目	3立	
優勝決定・順位決定競射				
16:50～17:20	閉会式			

11月26日（日）男子

8:00～8:30	開館・受付			
9:00～9:20	開会式			
9:50～10:50	予選 94名	1回目	12立	No. 1～94
11:00～12:00		2回目	6立	No. 1～48
12:10～13:10		2回目	6立	No.49～94
決勝進出者決定のための遠近競射・決勝進出者発表				
昼食休憩（60分）13:40～14:40				
決勝進出者招集 ※午後開始の15分前				
14:40～15:25	決勝 24名	1回目	3立	
15:40～16:10		2回目	3立	
		3回目	3立	
		4回目	3立	
		5回目	3立	
優勝決定・順位決定競射				
17:00～17:30	閉会式			

※進行により時間の変更が生じる場合がある。各自進行状況を確認の上、係員の指示に従うこと。

#### 4. 参加選手について

- (1) 出場人数 男子 94 名・女子 83 名 (いずれも各地連代表ならびに前年度優勝者)
- (2) 参加選手一覧、立順一覧は本必携 p 10～13 のとおり。

#### 5. 選手受付について

本大会において、矢羽の使用に関する準則に該当する矢羽を使用する場合は、矢羽の適正入手証明書（トレーサビリティ証明書）の別途提示をお願いします。

- (1) 日 時 女子 令和 5 年 11 月 25 日 (土) 8:00 ～ 8:30  
男子 令和 5 年 11 月 26 日 (日) 8:00 ～ 8:30
- (2) 場 所 中央道場玄関
- (3) 配付物 控室の机の上に配布（ゼッケン・大会プログラム・選手章等）

#### 6. 参拝について

本大会は役員による代表参拝を行います。選手の公式参拝はありません。

#### 7. 式典について

##### (1) 式次第

開会式	閉会式
1. 開式通告	1. 開式通告
2. 開会宣言	2. 成績発表
3. 国旗・全日本弓道連盟旗儀礼	3. 表彰
4. 優勝杯返還 同 レプリカ授与	4. 大会会長挨拶
5. 大会会長挨拶	5. 国旗・全日本弓道連盟旗儀礼
6. 来賓祝辞	6. 閉会宣言
7. 競技上の注意	7. 閉式通告
8. 選手宣誓	
9. 閉式通告	

※開会式、閉会式ともに男女別に行います。

※開会式は射場にて行います。(ブロック別に整列) p8 式典図参照

開始 15 分前 (8:45) 迄に射場に集合してください。

※決勝進出者は、閉会式に出席してください。

- (2) 開会式における選手宣誓は、選手を代表して、立順番号 1 番の選手をお願いします。

女子開会式 山本 あけみ 選手 (福井県) / 男子開会式 横山 裕樹 選手 (新潟県)

## 8. 競技運行について

- (1) 射距離は、60mとする。
- (2) 1射場1つの的とし立射で行う。
- (3) 1射場での行射は、4名以内とする。
- (4) 本座から射位までの距離は、1.1m（2歩）とする。
- (5) 射位における立位置の間隔は、1.6mとする
- (6) 予選、決勝ともに2射場に分割して行う。
- (7) 的は、直径79cmの震的とする。遠近競射の的は、直径100cmの震的とする。
- (8) 予選、決勝ともに「競技における行射の要領」で行うこと。
- (9) 入場後、「控」で待ち、最後の弦音で「本座」に進む。  
進行委員の「始め」の号令で、揖をして射位に進み行射する。
- (10) 予選における男子の部の89番以降、女子の部の81番以降は3人立とする。
- (11) 欠席の場合は、詰めずに空席とする。

## 9. 帯同者について

- (1) 本連盟で承認したトレーナー等の帯同者を選手1名につき1名許可する。帯同者は期間中、受付で配布する帯同者IDを常に着用し、大会終了後、必ず返却すること。
- (2) 帯同者の申請は11月22日（水）までに都道府県弓道連盟を經由し、全日本弓道連盟事務局へ申請すること。
- (3) 帯同者は更衣室への入室を禁止する。選手への処置は選手控室でのみ許可する。  
選手控室はスペースが限られているため、最小限のスペースにて処置を行うこと。  
処置以外の時間は館外へ退館していること。帯同者は第3控以降には入場できない。

## 10. 会場について

- (1) 館内には当日の出場選手（女子・25日／男子・26日 別種別の日は入館不可）、帯同者及び役員等関係者以外の立ち入りを禁止する。
- (2) セキュリティ確保の為、入館時、選手は選手章を、帯同者は帯同者IDを提示すること。  
選手章又は帯同者IDが確認できない場合は入館することはできない。
- (3) 本大会に伴う公式練習はありません。
- (4) 大会期間中、中央道場2階の巻藁を開放します。（開会式開催時を除く）
- (5) 館内は裸足厳禁。必ず白足袋または靴下を着用すること。ストッキングは裸足とみなす。
- (6) 弓具及び貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。
- (7) ゴミは各自で纏め必ず持ち帰ること。
- (8) 全館禁煙とする。
- (9) 本大会の観覧は可能だが、観覧席の一部の座席を使用しないなど間隔を取る場合がある。当日の掲示や係員の指示に従うこと。

## 11. 予選結果等の発表について

今大会の結果についてはLINE オープンチャットを利用して選手へご連絡を行います。

個人への紙媒体での配布は行いませんのでご了承ください。

※掲示は屋外1箇所になりますので、できるだけLINE オープンチャットをご利用ください。

登録は参加選手・役員のみとし、登録名は **選手名、都道府県名（例）弓道太郎、東京** をお願いします。

LINE オープンチャットでは、競技記録と選手への連絡のみ取り扱います。大量の通知を避けるため、参加時の

「●●県の●●です」といった自己紹介や挨拶、大会中の応援などは行わないでください。

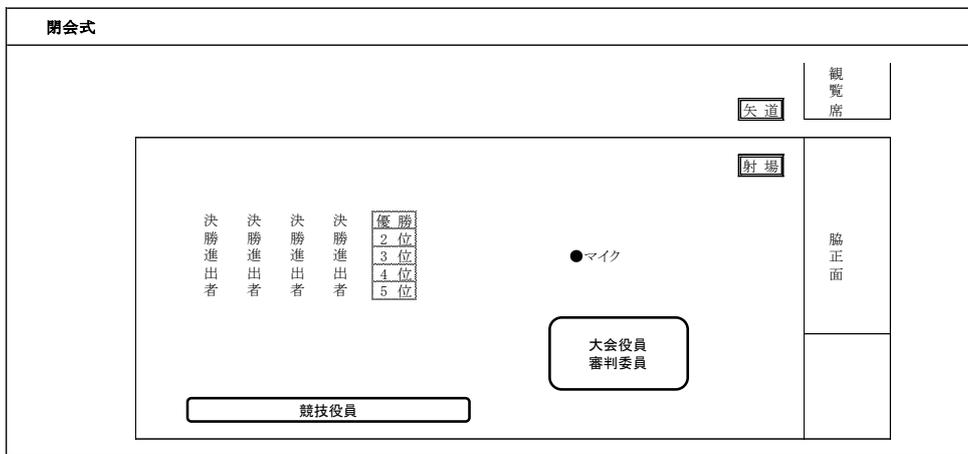
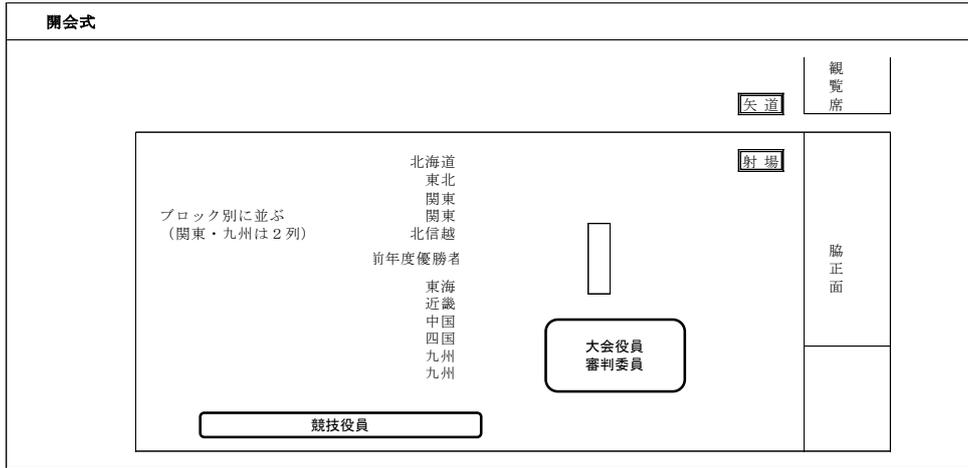
なお、LINE オープンチャット登録のためのQR コードは対象を参加選手のみとするため、受付にて配布いたします。

## 12. その他

### (1) 安全対策について

- ① 安全管理には万全を期すが、大会実施中に万一事故が発生した場合は、応急手当を施し、更に病院等で診療を受けた場合、その初診料は主催者が負担する。
- ② 医療機関に健康保険証を提示しないで受診した場合、医療費の全額が受診者の負担になるので、必ず健康保険証を持参すること。
- ③ 大会開催中（大会会場への往復途上は含まれない）、会場内における万一の事故に備え、本連盟の負担で選手・役員を対象として傷害保険に一括加入する。

13. 式典図



14. 会場案内

全日本弓道連盟中央道場

〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1

TEL : 03-5302-5865

JR線・都営地下鉄「代々木駅」より徒歩約15分。小田急線「参宮橋駅」より徒歩約10分。



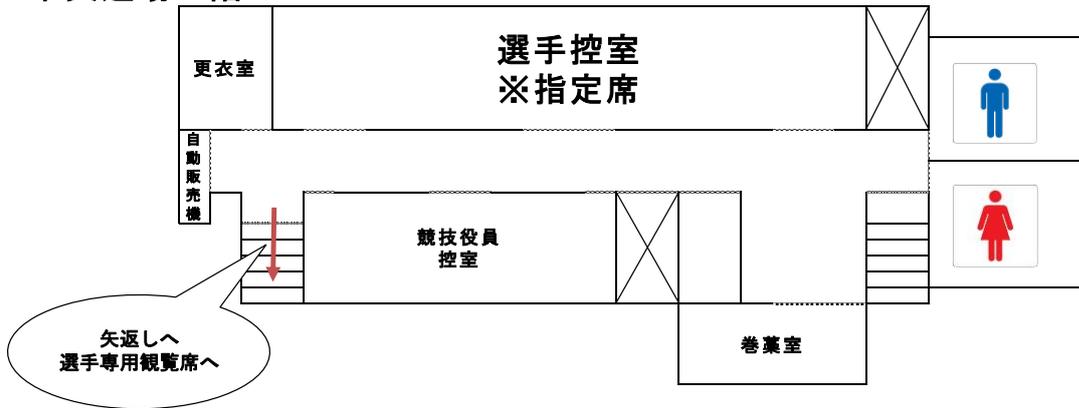
※タクシーは、明治神宮各門の外で降車すること。明治神宮苑内への乗り入れはできない。

※明治神宮苑内の駐車場は、選手は使用できない。公共交通機関にて来場すること。

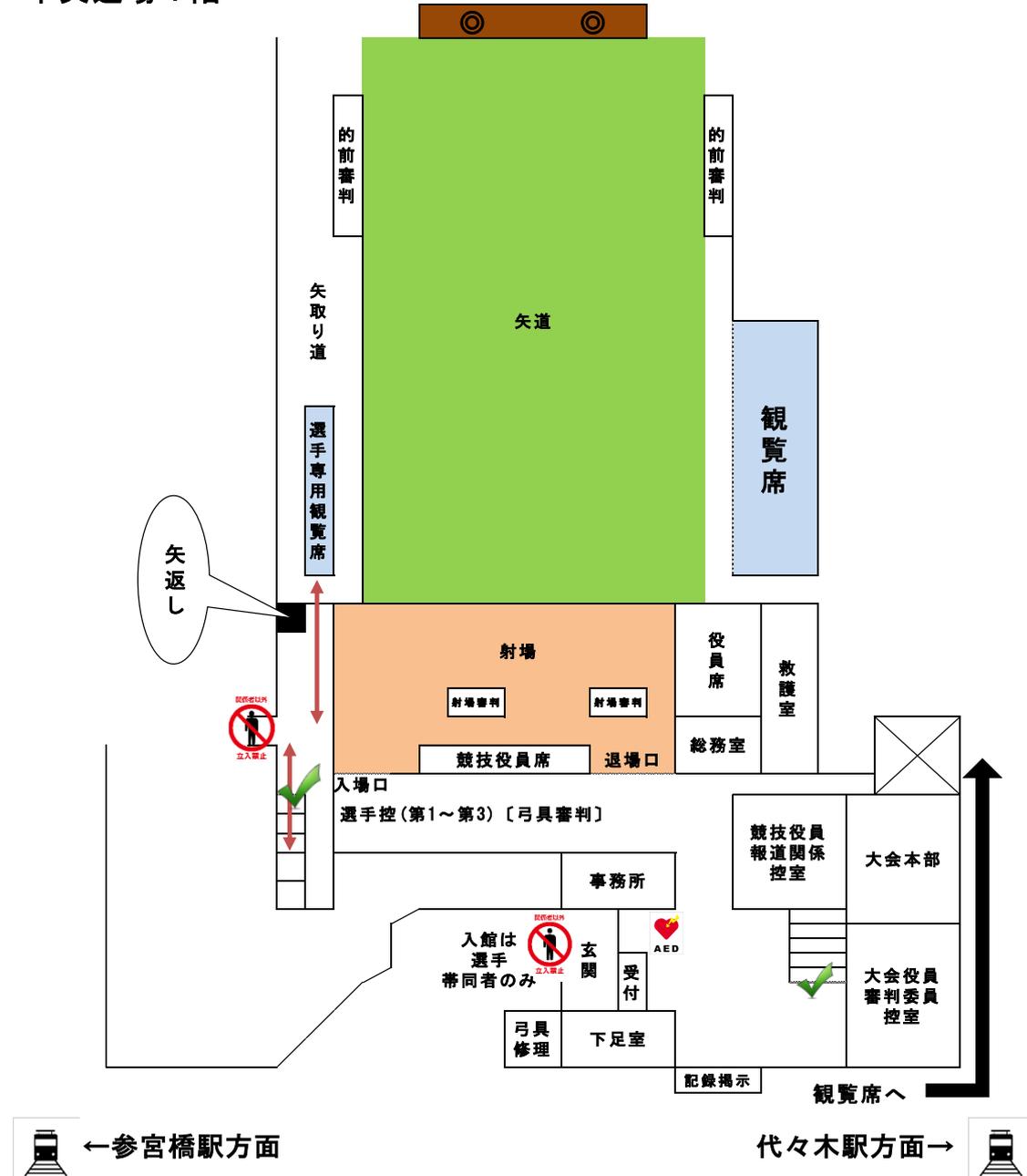
♥ AED (自動体外式除細動器)

✓ 選手章、帯同者ID確認エリア

### 中央道場 2階



### 中央道場 1階



15. 参加選手一覧・予選立順一覧

女子の部参加選手一覧

所属	予選立順	氏名	出場回数	称号段位	所属	予選立順	氏名	出場回数	称号段位
北海道	30	竹田 千恵子	18	錬士 六段	滋賀	6	藤崎 善弥	5	錬士 六段
	69	岩浪 梓	3	錬士 六段		38	井上 ルミ子	初	錬士 五段
岩手	22	村川 春圭	5	錬士 六段	京都	8	小牧 佳世	9	教士 七段
	79	岩田 真由美	初	五段		26	山口 尚子	7	錬士 六段
宮城	32	真壁 由美	5	教士 六段	大阪	43	川瀬 早苗	初	錬士 六段
秋田	2	石井 めぐみ	2	錬士 五段		63	中塚 美穂	3	錬士 六段
	41	川崎 和美	初	五段	兵庫	81	黒川 貴子	2	錬士 六段
山形	58	福定 葉子	2	五段		18	河本 淳子	初	錬士 五段
	61	佐藤 三枝子	2	五段	奈良	7	白井 礼子	6	錬士 六段
福島	80	安藤 久美子	5	教士 七段		29	東中 千佳	3	錬士 六段
	34	諏訪間 智美	初	五段	和歌山	39	川村 香	8	教士 七段
茨城	52	黒澤 智子	6	教士 六段		49	石本 千夏	13	教士 六段
	72	斎藤 詩乃	初	五段	鳥取	77	有澤 千秋	16	教士 七段
栃木	73	深谷 美砂子	3	教士 六段		70	小原 綾佳	初	錬士 五段
	74	笠倉 幸子	6	錬士 六段	岡山	47	中村 瑞穂	初	教士 六段
群馬	21	勅使川原 幸子	8	教士 七段		4	大野 由美	初	錬士 五段
	31	赤石 知代	4	五段	広島	15	鐘尾 恵美子	初	錬士 六段
埼玉	13	藤井 澄恵	初	錬士 六段		11	佐々木 洋子	初	錬士 五段
	62	小野 千絵美	4	錬士 五段	山口	20	立野 知己	16	教士 七段
千葉	25	金田 由紀	5	錬士 六段		16	平仲 由美子	8	教士 六段
	53	川村 綾美	初	五段	香川	17	木田 紅	2	五段
東京	9	中橋 信子	初	教士 六段		徳島	67	吉田 裕子	5
	3	山本 瑞穂	初	錬士 五段	40		増田 恭子	12	錬士 五段
神奈川	23	望月 久美	4	教士 六段	高知	50	下元 陽子	4	錬士 五段
	5	熊谷 恵	初	五段		愛媛	82	越智 仁美	初
山梨	19	根津 里美	4	錬士 六段	68		原田 和	初	五段
	新潟	14	小山 絵理	4	錬士 五段	福岡	45	春田 奈津美	2
27		新保 智子	6	五段	76		中村 真美	2	五段
長野	42	高地 美佐子	5	教士 六段	佐賀	36	竹下 知朋	17	教士 六段
	55	藤澤 敏恵	4	五段		長崎	24	岡野 明子	6
石川	64	山本 真理子	14	教士 七段	54		田中 美和	初	錬士 六段
	46	中村 裕美	12	錬士 六段	熊本	59	俣島 里美	3	錬士 五段
福井	1	山本 あけみ	4	教士 六段		66	吉田 真紀子	初	五段
	56	今立 由美	5	錬士 六段	大分	37	石永 ひとみ	5	錬士 五段
静岡	33	井手 綾子	4	錬士 六段		78	後藤 絵莉子	2	五段
	51	熊原 美保子	初	錬士 五段	宮崎	28	野中 梢	7	教士 六段
愛知	60	播本 直美	3	教士 六段		12	甲斐 美里	4	五段
	65	斧 絵里	初	錬士 五段	鹿児島	48	益満 宏美	初	錬士 六段
岐阜	35	西脇 早苗	9	教士 七段		83	田中 慶子	初	五段
	57	奥田 瑠華	2	五段	沖縄	44	益本 奈緒子	4	錬士 五段
三重	75	大市 奈穂子	2	錬士 六段		10	加藤 昌恵	初	五段
	71	岡 智美	3	錬士 六段					

女子の部予選立順一覧

立順	氏名	所属
1	山本 あけみ	福井
2	石井 めぐみ	秋田
3	山本 瑞穂	東京
4	大野 由美	岡山
5	熊谷 恵	神奈川
6	藤崎 善弥	滋賀
7	白井 礼子	奈良
8	小牧 佳世	京都
9	中橋 信子	東京
10	加藤 昌恵	沖縄
11	佐々木 洋子	広島
12	甲斐 美里	宮崎
13	藤井 澄恵	埼玉
14	小山 絵理	新潟
15	鐘尾 恵美子	広島
16	平仲 由美子	山口
17	木田 紅	香川
18	河本 淳子	兵庫
19	根津 里美	山梨
20	立野 知己	山口
21	勅使川原 幸子	群馬
22	村川 春圭	岩手
23	望月 久美	神奈川
24	岡野 明子	長崎
25	金田 由紀	千葉
26	山口 尚子	京都
27	新保 智子	新潟
28	野中 梢	宮崎
29	東中 千佳	奈良
30	竹田 千恵子	北海道
31	赤石 知代	群馬
32	真壁 由美	宮城
33	井手 綾子	静岡
34	諏訪間 智美	福島
35	西脇 早苗	岐阜
36	竹下 知朋	佐賀
37	石永 ひとみ	大分
38	井上 ルミ子	滋賀
39	川村 香	和歌山
40	増田 恭子	徳島

立順	氏名	所属
41	川崎 和美	秋田
42	高地 美佐子	長野
43	川瀬 早苗	大阪
44	益本 奈緒子	沖縄
45	春田 奈津美	福岡
46	中村 裕美	石川
47	中村 瑞穂	岡山
48	益満 宏美	鹿児島
49	石本 千夏	和歌山
50	下元 陽子	高知
51	熊原 美保子	静岡
52	黒澤 智子	茨城
53	川村 綾美	千葉
54	田中 美和	長崎
55	藤澤 敏恵	長野
56	今立 由美	福井
57	奥田 瑠華	岐阜
58	福定 葉子	山形
59	俣島 里美	熊本
60	播本 直美	愛知
61	佐藤 三枝子	山形
62	小野 千絵美	埼玉
63	中塚 美穂	大阪
64	山本 真理子	石川
65	斧 絵里	愛知
66	吉田 真紀子	熊本
67	吉田 裕子	徳島
68	原田 和	愛媛
69	岩浪 梓	北海道
70	小原 綾佳	鳥取
71	岡 智美	三重
72	斎藤 詩乃	茨城
73	深谷 美砂子	栃木
74	笠倉 幸子	栃木
75	大市 奈穂子	三重
76	中村 真美	福岡
77	有澤 千秋	鳥取
78	後藤 絵莉子	大分
79	岩田 真由美	岩手
80	安藤 久美子	福島

立順	氏名	所属
81	黒川 貴子	兵庫
82	越智 仁美	愛媛
83	田中 慶子	鹿児島

男子の部参加選手一覧

所属	予選立順	氏名	出場回数	称号段位	所属	予選立順	氏名	出場回数	称号段位
北海道	24	高橋 学	6	錬士 六段	滋賀	4	楠井 康文	5	教士 七段
	86	梅田 勝則	初	錬士 五段		74	荒木田 優哉	初	錬士 六段
青森	61	松田 智行	11	教士 七段	京都	66	山口 聡	初	教士 六段
	69	高橋 克徳	6	錬士 六段		60	加納 浩弥	5	錬士 六段
岩手	64	三角 勇人	3	教士 六段	大阪	49	丸井 雄介	初	錬士 六段
	89	菅井 皓太	2	五段		44	竹島 昌典	2	錬士 五段
宮城	52	相楽 倫男	7	錬士 五段	兵庫	2	和田 尚樹	7	教士 七段
	55	平間 真	初	錬士 五段		5	小堀 由政	初	錬士 六段
秋田	50	阿部 晃之	初	五段	奈良	37	藤岡 順	12	教士 七段
	77	藤田 純葵	初	五段		41	山口 亮二	7	五段
山形	51	竹内 憲	13	錬士 五段	和歌山	15	江川 昌也	4	錬士 五段
	83	柴田 祐	初	五段		14	土井 弘文	2	錬士 五段
福島	18	渡邊 英史	11	教士 七段	鳥取	47	大石 幸司	4	錬士 六段
	73	渡辺 達男	初	五段		72	谷野 智康	2	五段
茨城	59	安藤 勝利	3	教士 六段	島根	35	白井 寛之	初	五段
	38	野口 朋之	初	錬士 五段		26	辻 進	12	教士 六段
栃木	3	増田 訓彦	2	教士 七段	岡山	11	末田 涼	初	五段
	48	柿崎 雅哉	初	五段		23	西村 英信	8	五段
群馬	63	勅使川原 守	5	教士 七段	広島	79	戸田 俊一	初	五段
	65	高橋 香内	5	教士 六段		91	岡本 雅生	2	錬士 五段
埼玉	71	青木 豊	初	錬士 六段	山口	57	三好 和正	初	錬士 五段
	45	千葉 秀明	初	五段		78	廣實 佳祐	初	錬士 六段
千葉	6	山崎 太成	2	錬士 六段	香川	34	西村 勝美	5	錬士 五段
	19	木川 寿眞	2	錬士 五段		70	香川 毅	初	五段
東京	36	角坂 憲次	9	教士 七段	徳島	75	甲地里 大輔	初	五段
	32	小越 智就	初	五段		12	鈴木 泰祥	4	錬士 五段
神奈川	84	小坂 竜也	初	錬士 五段	高知	29	池下 大翔	初	五段
	88	山本 航也	2	五段		90	岡本 明弘	9	錬士 六段
山梨	22	渡邊 裕介	初	錬士 五段	愛媛	62	西峯 秋平	3	五段
	31	豊田 浩正	2	錬士 五段		21	越智 雅彦	3	錬士 六段
新潟	1	横山 裕樹	2	五段	福岡	27	原田 靖大	初	五段
	9	上村 和正	3	五段		82	森下 啓太郎	6	錬士 六段
長野	20	志村 仁	初	教士 六段	佐賀	25	志賀 翔太	初	錬士 五段
	33	岩村 拓生	2	錬士 五段		43	井崎 裕文	5	錬士 六段
富山	10	羽柴 祐浩	6	錬士 六段	長崎	80	野田 吾良	3	五段
	81	大橋 尚希	2	五段		40	溝尻 清敬	3	錬士 六段
石川	54	咲川 雅敏	初	錬士 六段	熊本	92	楠本 努	初	錬士 五段
	39	勝二 秀典	初	錬士 六段		42	吉川 明宏	初	錬士 六段
福井	46	春日 秀登	2	五段	大分	68	吉川 泰弘	初	錬士 五段
	58	後藤 嵩幸	初	五段		16	和田 純司	初	錬士 六段
静岡	53	朝田 晋輔	6	教士 七段	宮崎	30	竹尾 圭祐	3	五段
	87	小栗 崇志	12	錬士 六段		7	後藤 佑太朗	初	錬士 五段
愛知	94	赤尾 瞭斗	初	錬士 五段	鹿児島	17	平根 昌宜	3	五段
	8	佐藤 英樹	初	五段		56	大隅 雅成	7	教士 八段
岐阜	13	坂本 昌彦	9	教士 六段	沖縄	93	吉田 孝	4	五段
	67	森 栄二	初	錬士 六段		85	照屋 和彦	2	五段
三重	76	森 直記	9	教士 六段					
	28	湯矢 奨	3	五段					

男子の部予選立順一覧

立順	氏名	所属
1	横山 裕樹	新潟
2	和田 尚樹	兵庫
3	増田 訓彦	栃木
4	楠井 康文	滋賀
5	小堀 由政	兵庫
6	山崎 太成	千葉
7	後藤 佑太朗	宮崎
8	佐藤 英樹	愛知
9	上村 和正	新潟
10	羽柴 祐浩	富山
11	末田 涼	島根
12	鈴木 泰祥	徳島
13	坂本 昌彦	岐阜
14	土井 弘文	和歌山
15	江川 昌也	和歌山
16	和田 純司	大分
17	平根 昌宜	宮崎
18	渡邊 英史	福島
19	木川 寿眞	千葉
20	志村 仁	長野
21	越智 雅彦	愛媛
22	渡邊 裕介	山梨
23	西村 英信	岡山
24	高橋 学	北海道
25	志賀 翔太	福岡
26	辻 進	島根
27	原田 靖大	愛媛
28	湯矢 奨	三重
29	池下 大翔	徳島
30	竹尾 圭祐	大分
31	豊田 浩正	山梨
32	小越 智就	東京
33	岩村 拓生	長野
34	西村 勝美	山口
35	白井 寛之	鳥取
36	角坂 憲次	東京
37	藤岡 順	奈良
38	野口 朋之	茨城
39	勝二 秀典	石川
40	溝尻 清敬	長崎

立順	氏名	所属
41	山口 亮二	奈良
42	吉川 明宏	熊本
43	井崎 裕文	佐賀
44	竹島 昌典	大阪
45	千葉 秀明	埼玉
46	春日 秀登	福井
47	大石 幸司	鳥取
48	柿崎 雅哉	栃木
49	丸井 雄介	大阪
50	阿部 晃之	秋田
51	竹内 憲	山形
52	相楽 倫男	宮城
53	朝田 晋輔	静岡
54	咲川 雅敏	石川
55	平間 真	宮城
56	大隅 雅成	鹿児島
57	三好 和正	広島
58	後藤 嵩幸	福井
59	安藤 勝利	茨城
60	加納 浩弥	京都
61	松田 智行	青森
62	西峯 秋平	高知
63	勅使川原 守	群馬
64	三角 勇人	岩手
65	高橋 香内	群馬
66	山口 聡	京都
67	森 栄二	岐阜
68	吉川 泰弘	熊本
69	高橋 克徳	青森
70	香川 毅	香川
71	青木 豊	埼玉
72	谷野 智康	鳥取
73	渡辺 達男	福島
74	荒木田 優哉	滋賀
75	甲地里 大輔	香川
76	森 直記	三重
77	藤田 純葵	秋田
78	廣實 佳祐	山口
79	戸田 俊一	岡山
80	野田 吾良	佐賀

立順	氏名	所属
81	大橋 尚希	富山
82	森下 啓太郎	福岡
83	柴田 祐	山形
84	小坂 竜也	神奈川
85	照屋 和彦	沖縄
86	梅田 勝則	北海道
87	小栗 崇志	静岡
88	山本 航也	神奈川
89	菅井 皓太	岩手
90	岡本 明弘	高知
91	岡本 雅生	広島
92	楠本 努	長崎
93	吉田 孝	鹿児島
94	赤尾 瞭斗	愛知